

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒567-0877
 住 所 大阪府茨木市丑寅1-1-88
 氏 名 日立マクセル株式会社 印
 代表取締役 千歳 喜弘
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日立マクセル株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市多摩区登戸3819		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	32	その他の製造業
主たる事業 の内容	粘着テープの開発、製造、販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,528	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	環境グループ
		所在地	川崎市多摩区登戸3819
		電話番号	044-935-2801
		FAX番号	044-932-6033
		メールアドレス	0
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 4,883 t-CO ₂ (調) 4,566	(実) 5,082 t-CO ₂ (調) 4,723	(実) 4,733 t-CO ₂ (調) 4,395	(実) 4,628 t-CO ₂ (調) 4,310	(実) 5,256 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) -4.1 % (調) -3.4 %	(実) 3.1 % (調) 3.7 %	(実) 5.2 % (調) 5.6 %	(実) -7.6 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産金額		単位	t-CO ₂ /M¥	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	1.579	1.436	1.203	1.202	1.553
削減率		9.1 %	23.8 %	23.9 %	1.6 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	生産数量は14.4%増加したが、川崎工場における生産効率を向上させ生産金額（原価）を拡大しつつ、電力の使用量を抑制した結果、CO2排出量を4.1%の増加に留めることができた。CO2排出量原単位は9.1%削減することができた。
第2年度	休日での工場稼働等により、川崎工場における生産効率を向上させ生産数量（金額）を拡大（27.3%）しつつ、電力の使用量を抑制した結果、CO2排出量を3%削減することができた。CO2排出量原単位は23.8%削減することができた。
第3年度	休日への工場稼働日連続シフト等省エネルギー化を実施し、震災以降は生産金額が減少（対計画比-14%）するも節電対策を併せて実施した結果、目標排出量を628t上回る削減ができた。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 ○主要設備等の保安全管理 ○事務所等の空気調和の管理 ○照明設備の運用管理
	第1年度	<p>“○推進体制の整備 本社・川崎工場全体を含めた組織横断的な委員会(省エネ分科会)を設置し、推進体制を整備した。 ○主要設備等の保安全管理 エネルギー管理業務手順書を見直し、主要設備について管理標準の作成を行った。 ○事務所等の空気調和の管理 エアコンの温度を冷房は28℃、暖房は20℃に設定し、運用を行った。”</p>
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 本社・川崎工場全体を含めた組織横断的な委員会(省エネ分科会)を継続し、推進体制を見直した。 ○主要設備等の保安全管理 電気事業法第27条に基づく使用制限順守のため、エネルギー管理業務手順書を見直し、主要設備について管理標準の見直しを行った。 ○事務所等の空気調和の管理 エアコンの温度を冷房は29℃、暖房は20℃に設定し、運用を行った。
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 川崎事業所全体を含めた組織横断的な委員会(省エネ分科会)を継続し、推進体制を見直した。 ○主要設備等の保安全管理 電気事業法第27条に基づく使用制限順守のため、エネルギー管理業務手順書を見直し、主要設備について管理標準の見直しを行った。 ○事務所等の空気調和の管理 エアコンの温度を冷房は29℃、暖房は20℃に設定し、運用を行った。 ○照明設備の運用管理 事業所内建屋の照明機器の一部をLED照明に更新した。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. グリーン購入の推進を行う。 2. 輸送エネルギー原単位の目標管理を図る。 3. 営業自動車をハイブリッド車へ更新する。 4. 廃棄物の減量化、分別化の推進を図る。 5. 川崎工場のF棟の屋上緑化を検討する。
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事務用品やOA機器に対してグリーン購入の推進を行った。 2. 輸送エネルギー原単位の目標設定と数値の把握を行った。 3. 営業自動車のハイブリッド車への更新を継続している。 4. 廃棄物の減量化および、分別化の推進を行った。
第2年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事務用品やOA機器に対してグリーン購入の推進を行った。 2. 輸送エネルギー原単位の目標設定と数値の把握を行った。 3. 営業自動車のハイブリッド車への更新を継続している。 4. 廃棄物の減量化および、分別化の推進を行った。
第3年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事務用品やOA機器に対してグリーン購入の推進を行った。 2. 輸送エネルギー原単位の目標設定と数値の把握を行った。 3. 営業自動車のハイブリッド車への更新を継続している。 4. 廃棄物の減量化および、分別化の推進を行った。 5. グリーンカーテン（ごうや）を実施した。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	4,799	t-CO ₂
(調)	4,795	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎事業所	川崎市多摩区登戸3819	3299	粘着テープの開発、製造、販売	4,799 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--